

ごみ排出量からみた東京区部と多摩の都市特性

田中 充 (法政大学)

東京の区部と多摩地域のごみ排出量は、地域の人口や土地利用特性等により大きく異なっている。自治体毎(表1)にみると、区部では、もっとも排出量が多いのは世田谷区(人口88万人)の22万3千トン(年間)、次いで練馬区(72万人)の17万6千トン、大田区(69万人)の16万3千トンであり、人口の大きな区はごみ排出量も大きい傾向にある。23区合計では227万9千トンとなっている。一方、多摩では、八王子市(58万人)の12万1千トン、町田市(43万人)の9万トンの順であり、やはり人口の大小に応じて排出量も異なるが、全体的に区部に比べると少ない状況にある。

反対に、ごみ排出量の少ない自治体は、区部では千代田区(人口4万7千人)の2万1千トンが最小であり、続いて中央区(人口12万)の4万3千トンである。多摩では羽村市(人口5万7千人)の1万4千トン、福生市(人口6万1千人)の1万5千トン、清瀬市(人口7万4千人)の1万6千トンが排出量の少ない都市である。

自治体の排出状況をさらに詳しくみるために、ごみ排出の強さ(排出強度)として住民1人1日当たり排出量を比較する。これは、区民・市民が1日生活する中で排出するごみ量であり、国全体では1人1日当たりごみ排出量(2010年度実績)は976g¹である。これに対して、都心の千代田区1246g/人日であり、これを上回っている(表1)。区内に

多数の事業所やオフィス、繁華街の飲食店や集客施設が立地し、これから排出される事業系ごみが一般廃棄物として収集・処理される現状から、排出量に含まれて大きな数値になったものである。同じく都心区の中央、港、渋谷区も1人1日当たりごみ排出量は大きい。反対に、足立区644g/人日、江戸川区と大田区645g/人日となり、排出量が少なく、最大に千代田区の半分程度となっている。

一方、多摩地域では、最大は武蔵野市967g/人日、次いで立川市905g/人日、多摩市887g/人日となっている。また、最小は小金井市668g/人日で、次に西東京市721g/人日、清瀬市725g/人日と続いている。

1人1日当たりごみ排出量をみると、都心区を除くと、区部の方が多摩地域よりも全般に排出量は少ない傾向にあり、区部全体でも平均745g/人日に対して、多摩の26市平均809g/人日となっている。

¹ 環境省「一般廃棄物の排出及び処理状況等(平成22年度について)」(2012年3月)データ。

表1 東京区部と多摩地区のごみ排出量

区名	2010年度ごみ排出量t	1人1日当り排出量g
千代田区	21,425	1,246
中央区	42,600	951
港区	71,230	951
新宿区	91,973	772
文京区	52,506	696
台東区	53,026	826
墨田区	64,334	712
江東区	115,742	688
品川区	92,312	692
目黒区	64,373	657
大田区	163,130	645
世田谷区	222,648	695
渋谷区	67,964	911
中野区	72,001	627
杉並区	140,435	700
豊島区	75,200	724
北区	87,000	710
荒川区	47,333	638
板橋区	130,916	669
練馬区	175,657	672
足立区	160,305	643
葛飾区	107,428	665
江戸川区	159,556	644
全区平均	99,091	745

市名	2010年度ごみ排出量 t	1人1日当り排出量 g
八王子市	121,320	845
立川市	39,703	905
武蔵野市	35,108	967
三鷹市	39,818	755
青梅市	32,586	875
府中市	48,854	725
昭島市	26,306	838
調布市	51,376	758
町田市	90,192	849
小金井市	25,402	668
小平市	45,874	799
日野市	38,648	734
東村山市	32,342	756
国分寺市	28,558	805
国立市	17,912	840
福生市	15,165	872
狛江市	18,178	772
東大和市	20,828	799
清瀬市	15,881	725
東久留米市	24,953	785
武蔵村山市	18,570	823
多摩市	31,578	881
稲城市	18,861	793
羽村市	14,045	872
あきる野市	23,775	873
西東京市	40,785	721
全市平均	35,255	809

図1 東京区部23区のごみ排出量の状況

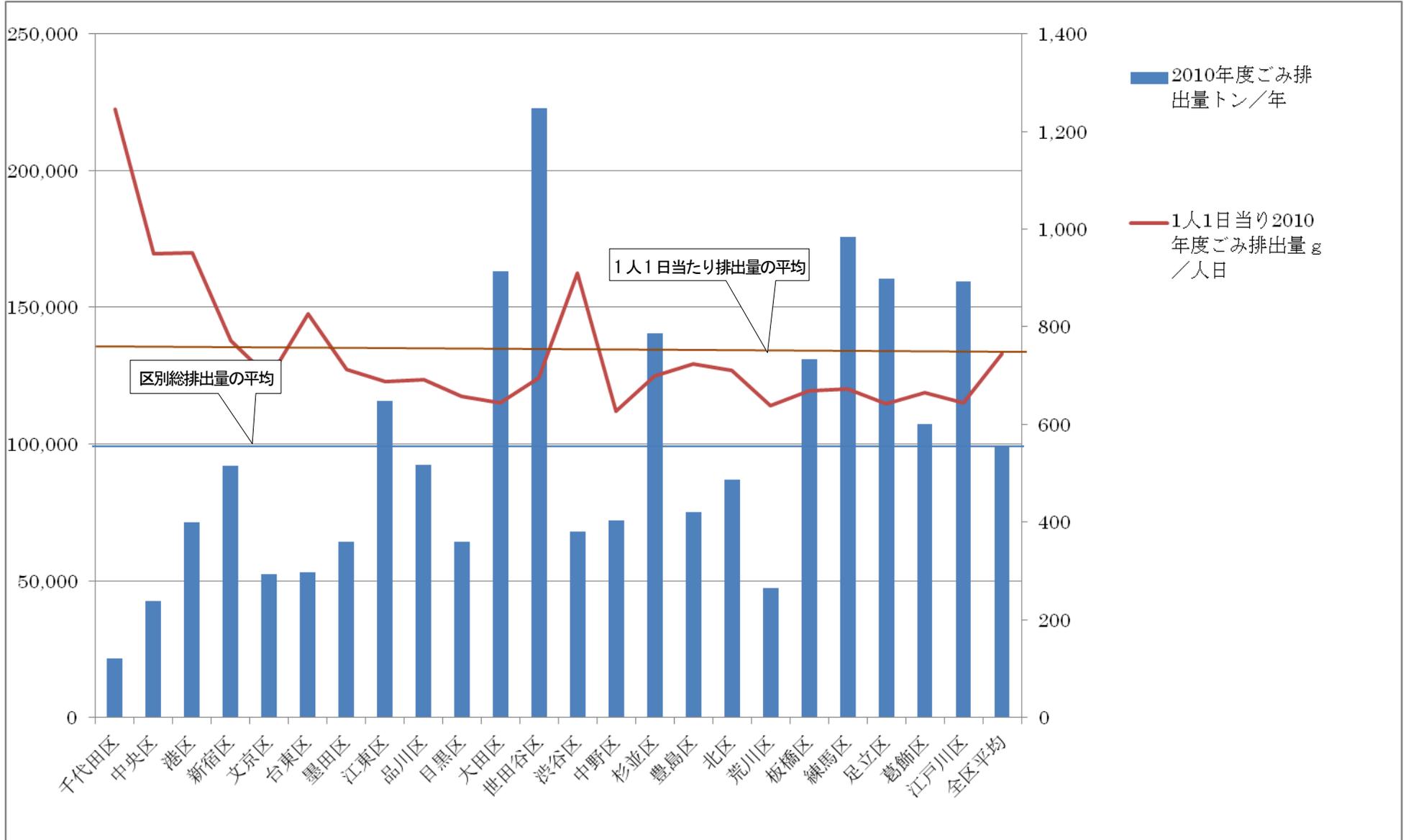


図2 多摩地域 26 市のごみ排出量の状況

